●第12回臨床解剖研究会のご案内

会　　期：2008年７月12日（土）

会　　場：東京医科歯科大学　歯学部４階特別講堂（〒113-8519　東京都文京区湯島 1-5-45）

当番世話人：杉 原 健 一（東京医科歯科大学教授・大学院腫瘍外科学）

演題募集要項：1）主　題：「内視鏡下手術における臨床解剖」，2）一般演題：臨床解剖に関する演題

1. 演題登録内容：演題名，演者，共同演者，所属，住所，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス，および演題抄録（抄録本文を全角800字以内）のすべてを入力してください．
2. 演題申込先：yasuno.srg2@tmd.ac.jp へお送りください．
3. 演題受取通知：演題を電子メール受信後，電子メールにて返信いたします．１週間以内に返信のない場合は事務局までお問い合わせください．

演題募集期間：2008年２月１日（金）～2008年４月28日（月）

問合わせ先：第12回臨床解剖研究会事務局

〒113-8519　東京都文京区湯島 1-5-45　東京医科歯科大学腫瘍外科学　安野正道

TEL 03-5803-5261　　FAX 03-5803-0139　　E-mail: yasuno.srg2@tmd.ac.jp

＊　　＊　　＊

●編集後記

臨床解剖研究会記録 No. 8 をお届けいたします．発行に当たってお世話になりました方々に厚く御礼申しあげます．本号は，昨年７月に富山市にて行われた第11回臨床解剖研究会の記録です．当番世話人の大谷修教授と教室の皆様のご尽力により，多数の方々にご参加いただくことができました．この場を借りてあらためて御礼申しあげます．

来る2008年３月27～29日に大分大学において日本解剖学会の第113回総会・学術集会（会頭：藤倉義久教授）が開催されますが，放射線医学の森宣大分大学教授（本会会員）が，膵臓の画像解剖について特別講演をされる予定であります．本会が臨床と解剖学の絆を強めることを意図して立ち上げられた経緯を振り返りますと，慶賀すべきことと考えます．また今夏の臨床解剖研究会（当番世話人：杉原健一東京医科歯科大学教授）の主題は鏡視下手術の臨床解剖であります．この10数年の画像診断と鏡視下手術の驚異的進歩をみるとき，まことに時宜を得た２つの企画と考え，期待を膨らましております．

さて，近年の電子化，ネットワーク化の急速な進展に伴い，本研究会もホームページ上で既刊の『臨床解剖研究会記録』の PDF 版をご覧いただけるようにいたします（本年４月以降利用可能の予定です）．また医学文献・医療情報等のネットワーク配信サービスのメディカルオンラインにも PDF 版を提供することになりました．会員はもとより広く一般の研究者・臨床医の方々に本研究会の内容を知っていただき，会員増につながることを期待しております．将来的には J-STAGE でも利用できるようにしたいと考えております．

本誌がお手許に届くころには春の気配も感じられると思いますが，残寒の折ご自愛ください．　　（会長　佐藤達夫）

臨床解剖研究会記録　No. 8　2008年２月発行

編集・発行　臨床解剖研究会
東京医科歯科大学臨床解剖学
〒113-8519　東京都文京区湯島 1-5-45
TEL 03-5803-5145　FAX 03-5803-0116
http://www.jrsca.jp/

印刷・製本　小宮山印刷工業株式会社